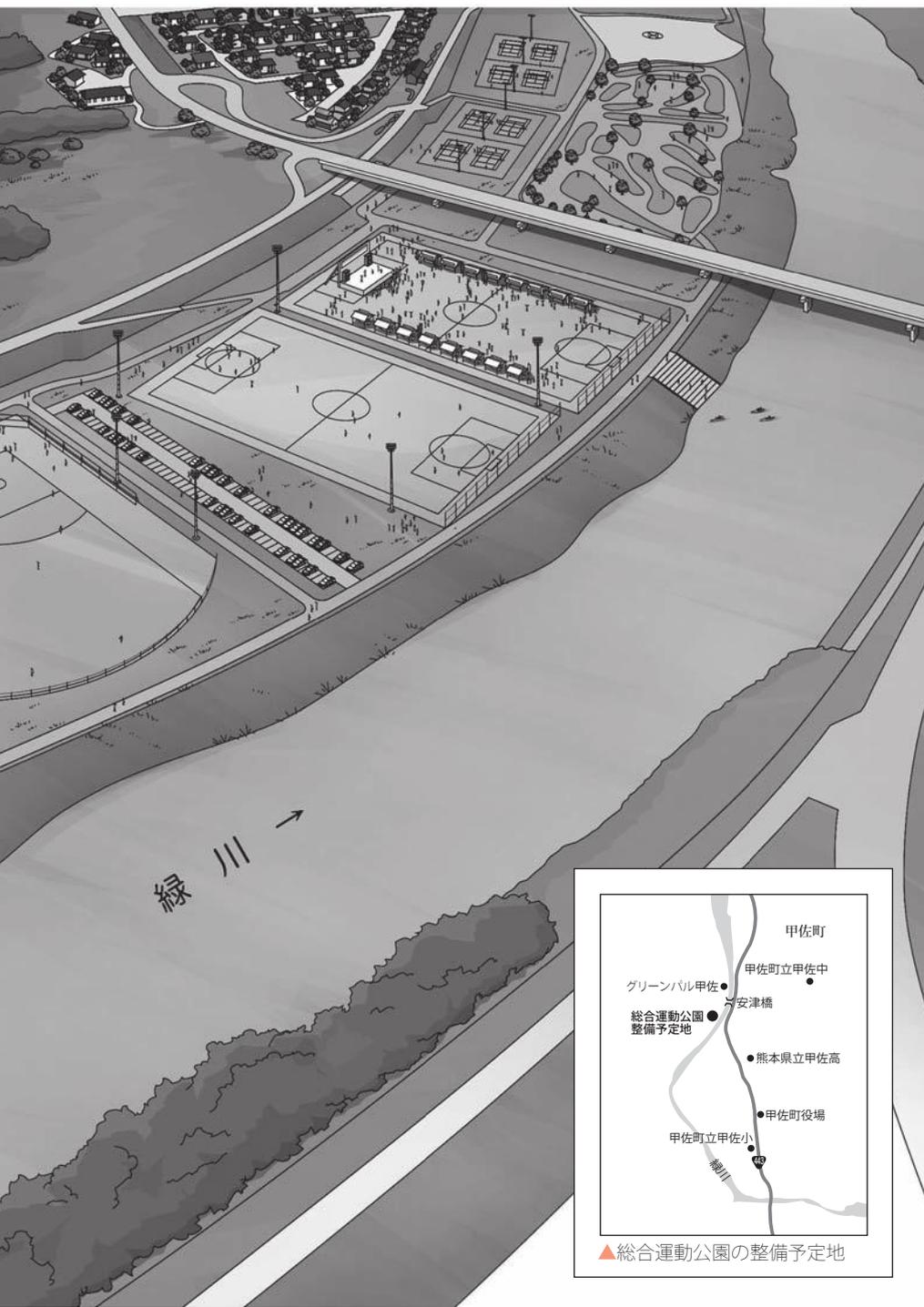


# サッカー場は来年秋に完成予定

# 復興のシンボル、総合運動公園を整備

町では、震災からの復興のシンボルの一つとして、町民が集いスポーツを楽しむ総合運動公園の整備を進めています。同事業は、甲佐地区かわまちづくり事業として国土交通省と連携して実施し、緑川左岸

の安津橋上流および下流側に整備します。来年秋の完成を目指すサッカー場をはじめ、テニスコート、野球場、ソフトボール場などを順次整備し、2023年に全施設のオープンを目指しています。



■サッカー場は天然芝と人工芝の2面を整備し来年秋完成を予定

町では、町民の憩いの場、また熊本市圏の地域間交流の場として、緑川左岸に整備したグラウンド・ゴルフ場と一体となり、安津橋上流および下流側の計画面積約100,000平方メートルに、サッカー場(2面)、テニスコート(8面)、野球場、ソフトボール場、ランニングコースなどを整備する計画です。

サッカー場は、人工芝サッカー場1面と、(公財)日本サッカー協会から寄贈いただく天然芝サッカー場1面の合計2面を整備。夜間の利用もできるように照明設備を備えます。来年秋の完成を予定しています。

■2023年に全施設オープンを目指し整備予定

そのほかの施設についても順次整備し、テニスコート8面を2020年に、

## (公財) 日本サッカー協会 からサッカー場を寄贈



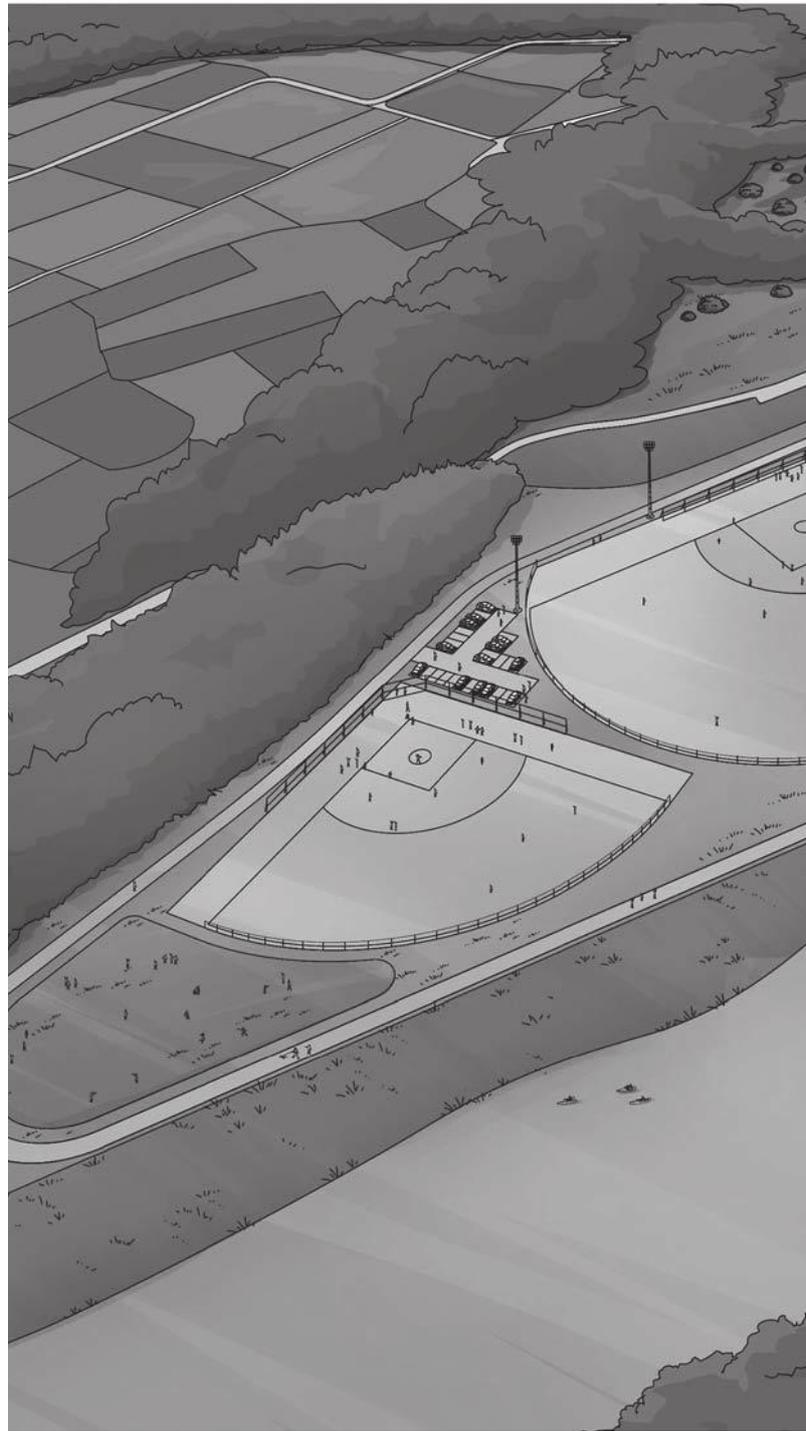
田嶋幸三会長（左）と奥名町長（右）

9月4日（火）東京都のJFAハウスで、「熊本県甲佐町と公益財団法人日本サッカー協会の包括協定」調印式が行われました。

本協定は、サッカーを通じて青少年の健全育成および町民の健康増進を図り、地域活性化に寄与することを目的として、町と（公財）日本サッカー協会（田嶋幸三会長）が締結しました。この連携の下に相互に協力して、さまざまな活動に取り組みます。

この協定の活動の1つとして、熊本地震復興支援の一環で、同協会が天然芝サッカーグラウンド1面を整備し、甲佐町に寄贈いただけることとなりました。本事業については、アジアサッカー連盟からいただいた熊本地震復興支援金（30万USドル）を活用して実施していただけるものです。

グラウンドは、緑川左岸の安津橋上流側に整備され、来年秋にオープン予定です。



野球場を2021年に、ソフトボール場を2022年にオープンの予定となっています。そして2023年にはランニングコースがオープンし、全施設の供用開始の予定となっています。また、イベント開催など多目的に使用できる広場や、安全に水辺を利用できる場所などを整備することを計画しています。

### ■震災からの復興のシンボルの1つとして整備

これらの事業は、川と人のかかわりが薄れるなか、国土交通省と地域が一体となり水辺空間を活用したまちづくり事業「かわまちづくり」事業と連携して実施しています。

平成28年の熊本地震で被災した自治体では、スポーツを楽しむためのグラウンドの多くが使用できない状況です。本町でも町営グラウンドには仮設住宅などが建設されるなど、スポーツを楽しむ、集い憩う場所が失われている状況にあります。町民の皆さんが、集いスポーツを楽しむ総合運動公園を、震災からの復興のシンボルと位置づけて整備します。

▼お問い合わせ先

町地域振興課

☎ 096・234・1154

（内線234）